

## PTZL 社超軽量ヘルメットのあご締めパーツの不具合について

アイスクライミング中に以下の不具合がありましたので、以下に報告しておきます。

### 記

- 1.日 時 2019年2月5日(火) 午前10時頃
- 2.場 所 甲府郊外芦安、上荒井沢 通称トリコルネの氷瀑
- 3.内 容 氷瀑登攀中の中段で突然ヘルメットが外れ落ちた。確保者が直ちに落下した当該商品を確認したところ、あご紐の装着パーツ部分の破損が確認された。(注1) 画像要確認
- 4.商 品 PETZL 社 SIROCCO シロッコ(重量 165 g)韓国仁寿峰登山口ウイドンの専門店で購入したもの。
- 5.その他
  - ①2017.9.5 西北ネパール Nyalu Lek 山群での登山中、ハイキャンプ早朝出発時のヘルメット装着で同様の破損が発生し、装着不能となった。(注2) 画像要確認  
帰国後、好日山荘町田店を通じて交換パーツを有償入手して付け替えた。韓国で購入した PETZL 商品ではあったが、破損パーツの画像を PETZL 社の日本の代理店アルテリア社に送った。
  - ②1回ならともかく、前回破損から1年5ヵ月後に破損の位置は異なるが、同様の不具合が発生した。
  - ③2013年に発売されたが、2017年のカタログには改良された商品が掲載されていた。あごのパーツも改良。
  - ④あご紐装着パーツは樹脂製で、雄を雌に挿入してセット固定する方式だが、金属疲労のごとく、セット時の爪部分が疲労破損したものか、または爪部分の何らかの強度不足が原因と思われる。
  - ⑤他で同様の報告があったならば、発売元の PETZL 社はこの旧商品のリコールなどを検討すべきと思う。私のだけとは思えない。ヘルメット本体の問題ではなく、ヘルメットを構成する樹脂製の接続パーツの問題として指摘したい。PETZL 社の見解を聞きたいと思う。

私としては軽量なので継続して使いたいので、適切なパーツであご紐をセットし直してくればそれでいいのです。当該ヘルメットには落石や転落などの衝撃履歴はない。



2019.2.5 芦安、氷瀑トリコルネ



(注1) 2019.2.5 破損したパーツをセットした状態 ❌



(注1) 2019.2.5 右上部分の爪が破損欠落した状態



(注2) 2017.9.5 西北ネパールでパーツの爪が破損



2016.5? 韓国仁寿峰登山口ウイドンで購入



製造番号と製造年月日?



製品管理上のバーコード?